

令和5年（2023年）度行政評価シート【個表】

令和 5 年 8 月 10 日

評価対象事業		評価者	福祉総務課長	矢部 哲也
健福-04	福祉センター管理運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	福祉総務課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	多様性のある福祉サービスの充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	鎌倉市福祉センターの利用者の利便性向上と、施設環境の保全を図るため。
効果	利用者の利便性向上のため、適切な施設の管理を行う。

2 令和4年(2022年)度を実施した事業の概要

・福祉センターの効率的な管理運営を行った。

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和4年度		令和5年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	福祉センター管理運営事業	光熱水費、昇降機保守点検手数料、総合管理業務委託料	保守及び点検業務(法定含む)の契約件数(件)	17 / 17	43,178 / 43,532	17 58,262	100.00%
02	福祉センター維持修繕事業	各所維持修繕料	修繕計画の進捗率(%)	84 / 80	8,745 / 9,051	30 3,448	105.00%
03				/	/		
04				/	/		
05				/	/		
06				/	/		
07				/	/		
08				/	/		
09				/	/		
10				/	/		
		財源内訳	国県支出金	/	/		
			地方債	/	/		
			その他特定財源	5,624 / 5,292	7,387		
			一般財源	46,299 / 47,291	54,323		
			事業費の合計(千円)	51,923 / 52,583	61,710		
			人件費(千円)	7,596	10,131		

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	0.5	1.0	1.0	1.3		
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	福祉センター管理運営事業	保守及び点検業務に漏れがないように、一覧を作成し適切に管理することで、施設環境の保持に努めている。	福祉活動を行う場を適切かつ効率的に管理運営することにより、多様性のある福祉サービスの充実が図れた。	-
02	福祉センター維持修繕事業	3年に1度実施される建築基準法12条点検で指摘があった項目について、優先度をつけて修繕している。令和4年度は点検後3年目にあたり、令和元年の点検における指摘事項の中で優先度の高い修繕は概ね完了した。	大規模外壁修繕を実施するなど、安全に施設が利用できる状況を維持することで、多様性のある福祉サービスの充実につながった。	鎌倉市福祉センターは、建築後30年が経過し維持修繕必要箇所が増えている。引続き計画的な対応が求められる。
03	0			
04	0			
05	0			
06	0			
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか		1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか		1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか		3 統合できる事業はない
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか		1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか		3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか		1 目的達成のために適切な手段(最小事業)である
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済	○-2 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2 市民等と協働して実施する事業はない
			協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】 拡充 改善・変更 現状維持 縮小 休止・廃止
 ・福祉センターにおける施設の保守管理料等維持管理費について、今後も施設利用事業者から、適切な受益者負担を求めるとともに、パネル広告など収入確保策を継続する。

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)	保守及び点検業務(法定含む)の契約件数						単位	件
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
保守及び点検業務(法定含む)を適切に実施することで、施設環境が保持できると考えられるため。	目標値	-	17	17	17			
	実績値	-	17	17				
	達成率	-	100.0%	100.0%				

指標(単位)	修繕計画の進捗率						単位	%
指標設定理由	年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
計画的に修繕を実施することで、利用者の利便性向上につながると考えられるため。(3年毎に実施される建築基準法第12条第2項に基づく点検で指摘された事項を3年間で修繕することを目標とし指標を設定)	目標値	-	80.0	80.0	30.0	60.0	90.0	
	実績値	-	76.0	84.0				
	達成率	-	95.0%	105.0%				

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	福祉会館の所有者(上段)及び管理者(下段)						
団体名	鎌倉市	横須賀市	逗子市	平塚市			
他市実績	市	市	市	市			
	市	市	指定管理者	指定管理者			

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方
 福祉会館の運営方法は、直営や指定管理など各市様々である。
 本市の福祉センターの運営についても他市状況を参考にするとともに、公共施設再編計画等を鑑み総合的に検討していく必要がある。